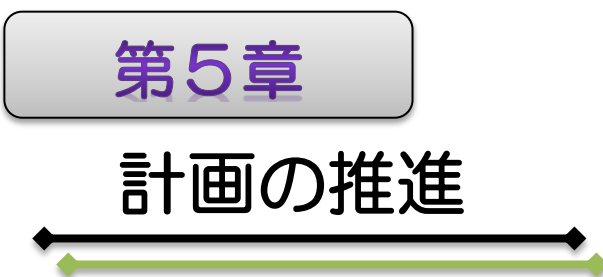


第5章

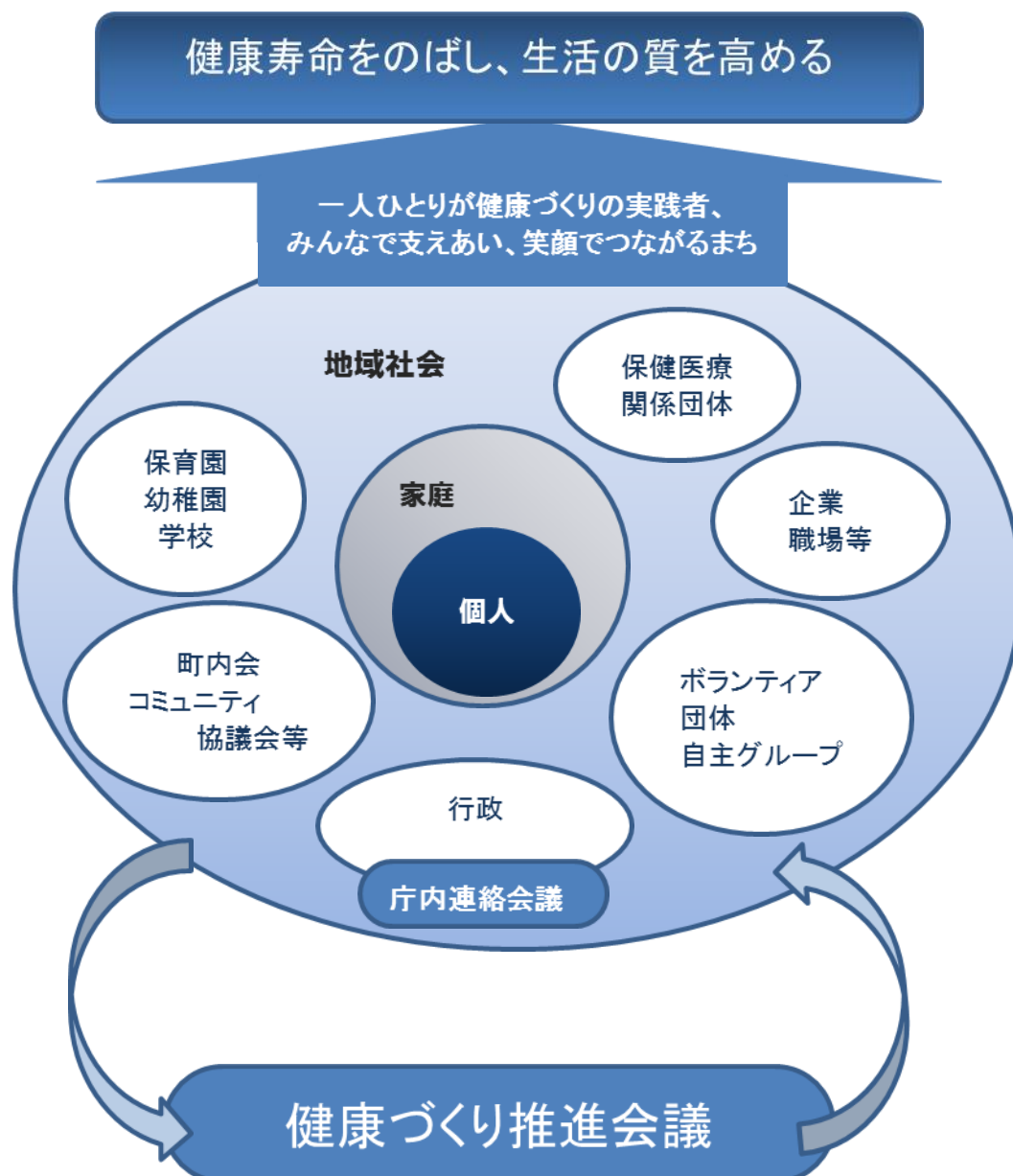
計画の推進



第5章 計画の推進

1 計画の推進体制

本計画の基本理念の実現に向け、個人や家庭、地域、企業、関係機関、行政などが主体的に取り組を進め、社会全体で健康づくりを推進する体制づくりが重要です。そのため、それぞれの役割を明確にするとともに、連携を図って取り組むことが求められます。



2 それぞれの役割

個人・家庭の役割

健康づくりの主役は市民一人ひとりであり、まずは、自分の健康に関心を持ち、正しい知識・技術を身につけ、自分にあった健康づくりを主体的に実践し、継続していくことが重要となります。

また、家庭において、お互いの健康状態を知り、「個人の健康づくり」を基盤に、家族ぐるみで健康づくりに取り組んだり、親が自らの健康づくりに取り組みながら、子どもに正しい生活習慣を伝えることも大切です。

地域の役割

地域は、市民の暮らしの基盤となる場であり、町内会、各種団体などによって、身近なつながりの中で、健康づくりに関する正しい情報・知識、健康づくりを実践できる機会が提供されることは、地域における健康づくり活動の推進に重要な役割を果たします。

企業・関係機関の役割

市民一人ひとりが、自分にあった健康づくりに取り組めるよう、企業・保健医療・教育・福祉等の関係機関が、健康づくりに関する正しい情報・知識、健康づくりを実践しやすい機会を提供し、健康を支え守るための社会環境の整備を進めます。

また、地域の様々な団体・組織および、行政との連携・協働をさらに強化していきます。

行政の役割

ライフステージに応じた健康に関する情報を、広く市民に発信します。地域・企業・関係機関等と一体となって健康づくり活動を推進していくとともに、保健・医療・福祉分野以外の庁内関係課とも連携し各施策を着実に推進していきます。

3 計画の進捗管理

目標の達成度と、各地域や関係機関等の取り組みを把握し、健康づくり推進会議等において本計画の進捗状況の管理・評価を実施していきます。